

県解体組合

新理事長は市原氏(大同)

役所との連携図る

県解体工事業協同組合の第37回通常総会が24日、千葉市内で開かれ、任期満了による役員改選で市原昭公氏(大同産業)が、新理事長に任命された。市原氏は、「若輩者ですが、組合の皆さんと協力して役所と連携を図り、信頼関係を深めたい」と決意を表明した。

会の冒頭、あいさつに立った小松隆弘前理事長(小松土建)は、ロシアによるウクライナ侵攻が世界的な経済活動や物産、企業活動に及ぼす影



市原理事長

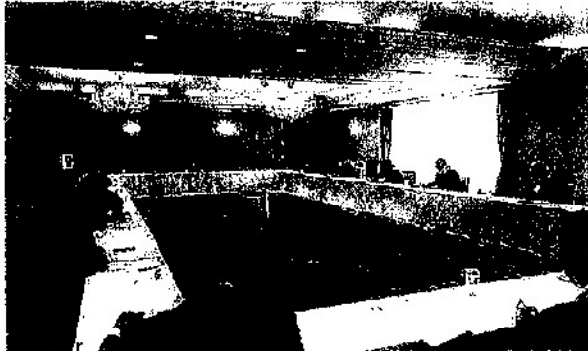
響を懸念しつつ、解体工事業界としては民間施設や個人住宅の受注に手堅いものがあったと語った。さらに不透明な社会情勢で受注環境が厳しくなることも予想される中、「解体工事業は今後も必要な業種として存在感を増す」と自信をのぞかせ、組合員間の連携と協力を促し、「解体工事の専門集団」としての優



花束を贈られた小松前理事長

位性を発揮し、一層の堅力が必要されると呼び掛けた。

議事では2021年度の事業報告や決算報告、22年度の事業計画案や予算、役員改選などの議案が審議され、全て原案通り承認された。



三密を避け正会員のみ出席

当日は、20年におわり同組合の運営に携わった小松前理事長をねぎらい、花束贈呈も行われた。今総会で異動となった小松氏は、「行政機関との連携を図り、信頼関係を深くしたいという強い思いがあった」と、自身の活動を振り返った。また組合財政の健全化、組合員の増加、将来を興へた事



向後市議

同組合顧問で千葉市議会議員の向後保雄氏も駆け付け、組合を船出したとあって「市原丸の出航おめでとう」。暫く市原理事長を支え、良い方向に進んでほしい」とエールを送った。

承認された役員人事は次の通り(敬称略順不同)。

- ▽理事長：市原昭公(大同産業)
- ▽副理事長：佐藤史雄(東工業)
- ▽専務理事：渡原廣義(三勢)
- ▽理事長補佐兼理事：山田俊一(山田建設、水間純水間建設工業)
- ▽理事：山口真延(大葉開発)、米山啓(米山興業)、池田太一(イケタ)、池澤洋三(小見解体)、安藤真一(ハマタ)
- ▽幹事：小松健太(小松土建)